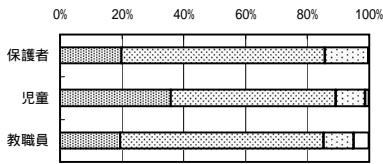


■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない

学校教育目標

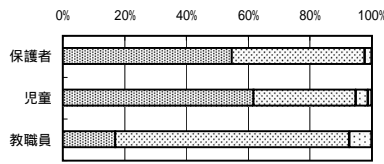
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



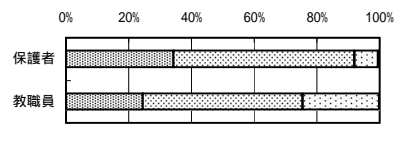
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

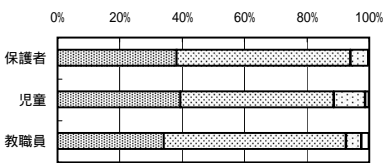


【学校から】(1)について今年度の学校の教育方針や目標について、PTA総会時に校長から説明を行ったり、学校便りで知らせたりした。また学級懇談会の折、担任より児童の実態や各学年の目標、めざす児童像等について、具体的に保護者に伝えた。さらに、日々の実践の中で各教職員が教育目標や方針を具現化していくとともに、懇談会等を使い、目標やめあての達成度等について保護者に伝えていくことが大切である。
 (2)について学校生活を楽しく過ごしていると答えた(4・3と回答した)児童が95%であった。しかし児童、保護者に比べ、教職員の4の割合が低かった。生活面、学習面での手だてを考え、一人一人が楽しいと感じる環境づくりをさらに推し進めることが大事である。
 (3)について保護者に比べ教職員の評価が低かった。共通理解・共通実践を昨年度から推し進めてきているが、今後さらに、各教職員が連携協力して教育活動に取り組むことを意識化することが大切である。

教科指導

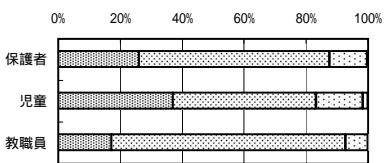
4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

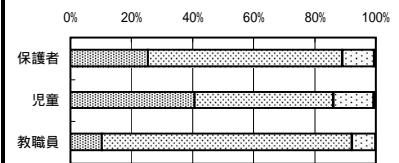


【学校から】わかる授業、楽しい授業づくりに取り組んでいると、90%近くの保護者、児童、教職員が答えていた。日々の授業改善に取り組み、個に応じた支援を工夫してきたことが認められたと考えられる。しかし、2・1に回答した児童が1割強あり、授業内容の理解が十分にできていない児童がいる。授業において児童の実態に応じた適切な支援を行うと同時に、個別指導や補充学習を継続して行うことも必要である。
 (5)について93%の教職員が4・3に回答しているが、保護者、児童の評価はやや低かった。今後さらに、向学心を持たせる手立ての工夫を図り、児童の主体性を引き出す授業づくりを工夫していく。

総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

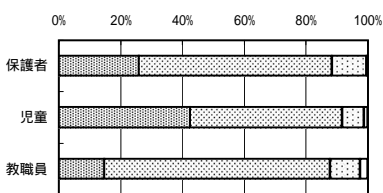


【学校から】昨年度に比べ教職員の4・3の割合が5%増え92%になった。年度当初に全学年で内容の見直しを行い、児童が目的意識を持ちながら調査・体験活動をするよう、授業を工夫した結果であろう。移行期における内容の精選と、年間計画の見直しを行い、児童の主体的な学習となるよう工夫していく。

道徳教育 心の教育

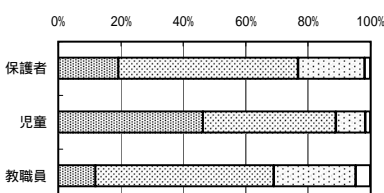
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に努めていると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

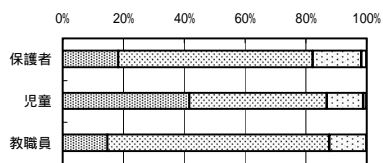


【学校から】(7)について90%近くの保護者、児童、教職員が4・3に回答している。道徳教育を要とし、教育活動全体の中で人や物との関わり合いや伝え合う活動を重視し、心の教育の充実に取り組んだ。また、児童の実態に応じた題材を工夫したり、児童の心に届くような授業の実践に取り組んだりしてきた。道徳の授業を公開したり内容を通信に載せたりしたこと、心のノートを持ち帰らせたりしたこと、保護者の理解や家庭での取り組みにも繋げることができた。
 (8)について4・3に回答した教職員が昨年度の51%から17%増えた。教職員の率先垂範の姿が増えた。今後も、児童から気持ちの良いあいさつができるよう、学校全体で意識を高揚させ、実践に繋げていきたい。また、児童の実態や学校での取り組みを地域や家庭にも伝え、連携した取り組みをさらに継続して実施していく。

人権教育

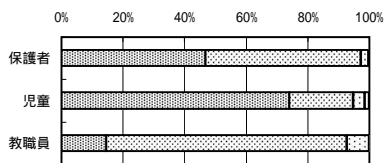
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていると思いますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

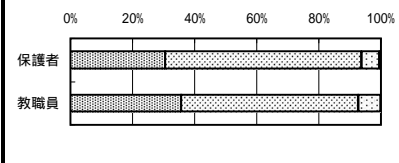


【学校から】(9)について児童に比べ教職員と保護者の4の割合が低かった。児童との会話や日記、作文、帰りの会等により、担任等は日常生活の中のさまざまな問題をいち早くつかみ、一人一人に丁寧に開くよう心がけてきている。しかし、今後さらに、保護者や児童一人一人の思いや願いを真摯に受け止め、教職員の共通理解を深めながら、個に応じた指導を進めていく必要がある。また、学校での取り組みを丁寧に伝え、連携していくことも大切である。
 (10)について4・3に回答した保護者や児童が95%を超え、教職員も93%の回答が得られた。しかし、4の割合では認識がずれが見られた。今後も児童や教師の人権意識の高揚を図るとともに、思いやりのある行動の仕方について、日常生活の中で具体的に指導したり示したりし、友達と仲良く過ごせる児童の育成に努めたい。

特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

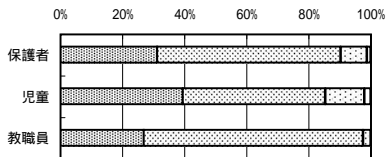


【学校から】4・3に回答した保護者・教職員が、93%になった。校内支援委員会や研修、ケース会議等を通し、共通理解が確保され、各学級できめ細かな支援が実践されていることが評価に繋がったと考えられる。また、教育相談を実施したり、交流学習について保護者会で説明したり、特別支援学級について配布したりしたことで、保護者の関心が高まってきたと考えられる。今後も保護者との連携を図りながら、具体的な支援のあり方を検討していく。

生徒指導 教育相談

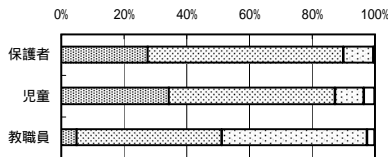
12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



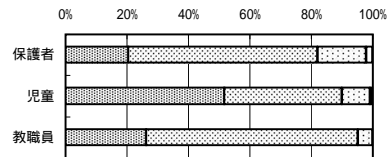
13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。



【学校から】(12について)児童理解のための校内研修や生活朝会を実施し、児童の実態や指導方法について話し合いを行い、共通理解を図った。また、子どもの実態をつかみ、一人一人の学びを大切にされた指導法の工夫・改善に取り組んできた。しかし、2・1と回答した児童が12%あり、今後さらに個々の児童理解につとめていく。

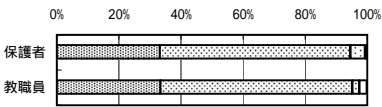
(13について)きまりやルールの遵守に、学級指導や全校集会の場での指導の徹底を図ったが、保護者や児童に比べ、教職員の評価が低かった。今後、課題を明確にしなが、児童の規範意識の育成に全職員の共通理解を図り、共通実践に取り組んでいく必要がある。

(14について)命の大切さをテーマにした授業を全クラスで行った。また、人権集会の場で校長講話を行ったり、12月を人権学習月間と設定し、全校でいじめのない学校づくりに取り組んだ。その内容については便りで伝え、保護者への啓発を図った。今後さらに、教師の人権感覚を磨き、児童が安心して学校生活を送れるよう努力していかなければならない。

健康教育 安全

15 安全と事故防止

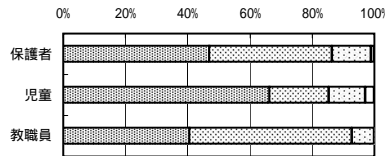
学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



【学校から】(15について)4・3の割合が、保護者も教職員も95%で、安全と事故防止への取り組みについて一定の評価が得られた。登校の様子については、学期に1回振り返りカードを使い、児童と保護者が一緒に考えるようにしている。また、学校保健委員会でも安全な登下校の仕方について考えた。今後も、継続して日常的に指導していく必要がある。
(16について)体育委員会によるゲーム大会を開いたり、縄跳びの技を習得しやすいように練習台を増設したりした。また、部活動に入り、スポーツに親しみ、体力を向上させている児童も多い。しかし、1・2と回答した児童も15%あり、運動や外遊びを好まない児童もいる。今後も、外遊び奨励の手だてを工夫していく。

16 体力向上

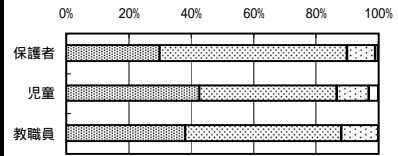
子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。



学校行事

17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

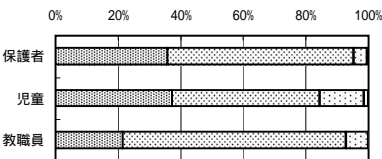


【学校から】(17について)運動会は実施できたが、校内音楽会や日曜参観等が、新型インフルエンザの影響から自粛となった。保護者、児童、教職員ともほぼ同じ結果であったが、1と回答した児童が4%いた。各行事の意義を、児童の発達段階に応じて丁寧に説明したり、一人一人の児童が力を発揮できるように、内容や方法に工夫をこらしていく必要がある。

学校環境

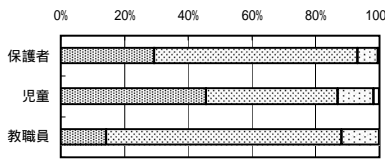
18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外(花壇や掲示物など)がきちんと整理されていると思いますか。



19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

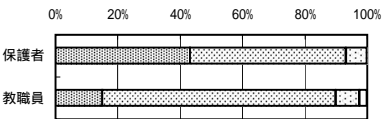


【学校から】(18について)教職員の4の割合が、一昨年4%、昨年17%、今年22%と増えてきている。年度初めより、一人一鉢運動が計画的に実施され、緑化委員会を中心に、種から苗を育てる活動が実施されてきている。教材備品の整理整頓が進められ、使いやすくなってきている。掲示は、担当職員と委員会の児童を中心に、計画的に行われていた。
(19について)毎月定期的な安全点検を放送で呼びかけ、場所によっては児童と一緒に点検を実施した。また、同じ日にトランシーバー点検も行った。安全点検後は、必要に応じ報道を行い、学校全体で情報を共有し、安全について考えるようにしている。さらに、教職員一人一人が危機管理意識を持ち、より安全な学校環境を整えていく。

情報の公開・発信

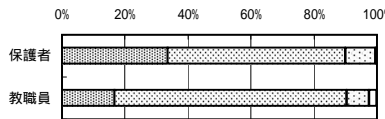
20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動(行事、授業等)は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

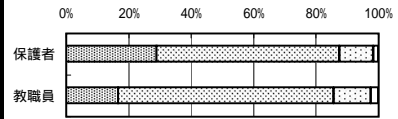


【学校から】(20について)昨年度に比べ4・3に回答した保護者が増え、教職員ともに90%を超えた。学校便りをはじめ学年・学級通信、学校安心メール等で、学校の情報を保護者や地域に伝えることができた。
(21について)4・3の割合が保護者、教職員とも90%であった。なるべく多くの方に参加していただけるよう、学校便りをはじめ学年便り等で早目に行事実施日等を知らせている。今後さらに、保護者の参加率を高めるよう日程や内容の工夫を検討していきたい。

家庭・地域との連携

22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



【学校から】85%近くの保護者、教職員が4・3と回答し、4の割合は教職員の方が低かった。今後さらに、地域人材の活用を図るとともに、保護者や地域との双方向の情報交換を活かし、意思疎通を図っていく。また、学級懇談会の持ち方等を工夫することも必要である。

来年度の具体的な取り組みについて

学力を向上させるため、個に応じた指導の充実を図るとともに、わかる授業や楽しい授業づくりに努める。生徒指導においては、特に規範意識の育成に努める。全職員の共通理解と共通実践により指導の徹底を図るとともに、家庭・地域と連携した取り組みを進める。
道徳の授業を要とし、教育活動全体の中で心の教育の充実を図り、思いやりの心を育成する。
体育の授業を中心としながら、日常生活全体において体力向上への取り組みを進める。

学校関係者評価

全ての項目において、学校関係者全員が4または3と回答しており、学校の教育活動に対しプラスの評価をしている。特別支援学級と通常学級の交流を、今後も大事にし、ともに生きることを通して、子どもたちを育ててほしい。
心の教育の充実に対して、道徳の授業を中心に、子どもたちの心を育ててほしい。
体力向上に対しては、早寝・早起き・朝ごはん等、基本的な生活習慣を定着させるため、今後も家庭と連携して取り組んでほしい。